

教育ニュースレター vol.1

2020年度のラダー別研修が始まりました。
看護部が行う集合研修について、昨年度と同じく“ニュースレター”という形で皆さんにお届けします。
ここでは研修の内容や様子、担当者から「病棟でここを見てほしい」といったOJTとの連携などなど、
各看護単位で集合研修での学びを活かしてもらえよう、お伝えしていきますので、よろしくお願いいたします。

5月25日にレベル I 研修を行いました！
入職して2ヶ月が経過し、日勤では少しずつ自立して行える部分が増えてきたことでしょうか。今回はいよいよ6月から始まる夜勤について、心構えができるような研修を行いました。

研修の内容

・講義『夜勤をする生活リズムの整え方』

『夜間の看護の要点と報告・相談のあり方』

夜に働くことが身体にどう影響するか、夜間の看護は日中と何が違うのかを学びました。

・グループワーク『オリエンテーション夜勤の進め方』

3回のオリエンテーション夜勤がどのように進められるか、どんな目的があるのかを説明しました。その後、研修生同士で夜勤に対する思い等を話し合いました。



夜勤に対するイメージは？と尋ねると、「大変そう」、「忙しそう」といったことの他に、「食欲がおかしくなると聞いた」という発言が。夜勤くって、どう身体に影響するのかを糸口にして、講義を進めました。

オリエンテーション夜勤の進め方

初回～3回はオリエンテーション夜勤として、同じチームの先輩看護師と一緒に入ります。目標をステップアップさせて、夜勤の独り立ちを目指します。

- 初回 夜勤を体験する
初めて病棟で一晩過ごします。自身の体調を整えて朝を迎えられるようにしましょう。
- 2回目 先輩看護師に付いて夜間の看護を経験する
先輩看護師が担当する患者のケアをしっかり見て、夜間の看護を体験します。
受け持ち人数を限定して担当する場合があります。
- 3回目 先輩看護師の見守りの元で看護を実施する
チームの患者を担当します。先輩看護師は見守り役です。
- 独り立ちへ(概ね4回目ですが、変化することがあります)

(講義資料より)

研修の反応 (アンケートの回答から)

夜勤の心構えが少しできて、良かったです。
初めての夜勤に向けて準備していこうと思います。
夜勤に向けての心がまえができました。
副師長さんからのご意見も参考になりました。
夜勤のイメージが少しついたので、分からないことは聞きながらやっていきたいです。
自分なりに生活リズムを整えられるように夜勤になれるように要点を押さえて頑張りたいです！

病棟へ

夜間の看護は、患者さんが睡眠と休息をとれるよう援助し、また日中の活動へと繋げる大切な時間です。また、夜間はペアの看護師が相手チームの先輩になります。夜勤はしんどいこともありますが、患者さんの24時間を支える、看護の役割が実感できると思います。夜勤オリエンテーションでフォローに入る先輩もいると思います。各回の目的に沿って、サポートや助言をお願いします。

次回は6月18日にリフレッシュ研修を行います！